

氏名	原 葉子 HARA Yoko
所属 職名	人間発達教育研究センター 特任アソシエイトフェロー
学位	学術修士
専門分野	歴史社会学 ジェンダー論
URL	
E-mail	hara.yoko@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

更年期
高齢者／エイジング
ジェンダー
20世紀ドイツ
社会国家

menopause
old/aging
gender
Twentieth-Century Germany
social state

主要業績

原 葉子『19世紀?20世紀初頭のドイツにおける「更年期」の医療化過程』お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科博士論文

研究内容 / Research Pursuits

おもに世紀転換期のドイツをフィールドに、「高齢者」「エイジング」に関する社会意識の有りようをジェンダー論的視点から捉える研究を行っている。現在、以下の2つのテーマの分析に取り組んでいる。(1) 20世紀初頭における「更年期」概念の位相ドイツの世紀転換期は少産少死型への人口学的な転換点でもあり、またジェンダーのあり方も含めた旧来の社会秩序の再編成期でもある。19世紀末からライフコース上に登場した「更年期」をめぐる言説を分析することによって、エイジングやジェンダーをめぐる社会的位置づけの変容を捉え、現代的な問題との架橋を図っている。(2) ドイツ社会国家における高齢女性の位置づけ 2006年より、社会国家としてのドイツを歴史的視点(経路依存性)から研究するワークショップに参加し、女性の年金問題を中心的課題として研究している。ワークショップ2クール目の2009年度からは、ワイマール期のKleinrentner問題に焦点を当てている。

I am conducting research on the social consciousness with regard to "aging" in early twentieth-century Germany, especially from gender-related perspectives. At present, my research is focused on the following themes. (1) The concept of "menopause" in the

■ 教育内容 / Educational Pursuits

本学全学共通科目グローバルCOE人間発達科学論? 日本女子大学人間社会学部現代社会学科「外国語演習2」(前後期) 青山学院女子短期大学家政学科「生活管理学」(前期)「女性論」(後期) 星薬科大学「ジェンダー論」(前期)

■ 研究計画

■ メッセージ